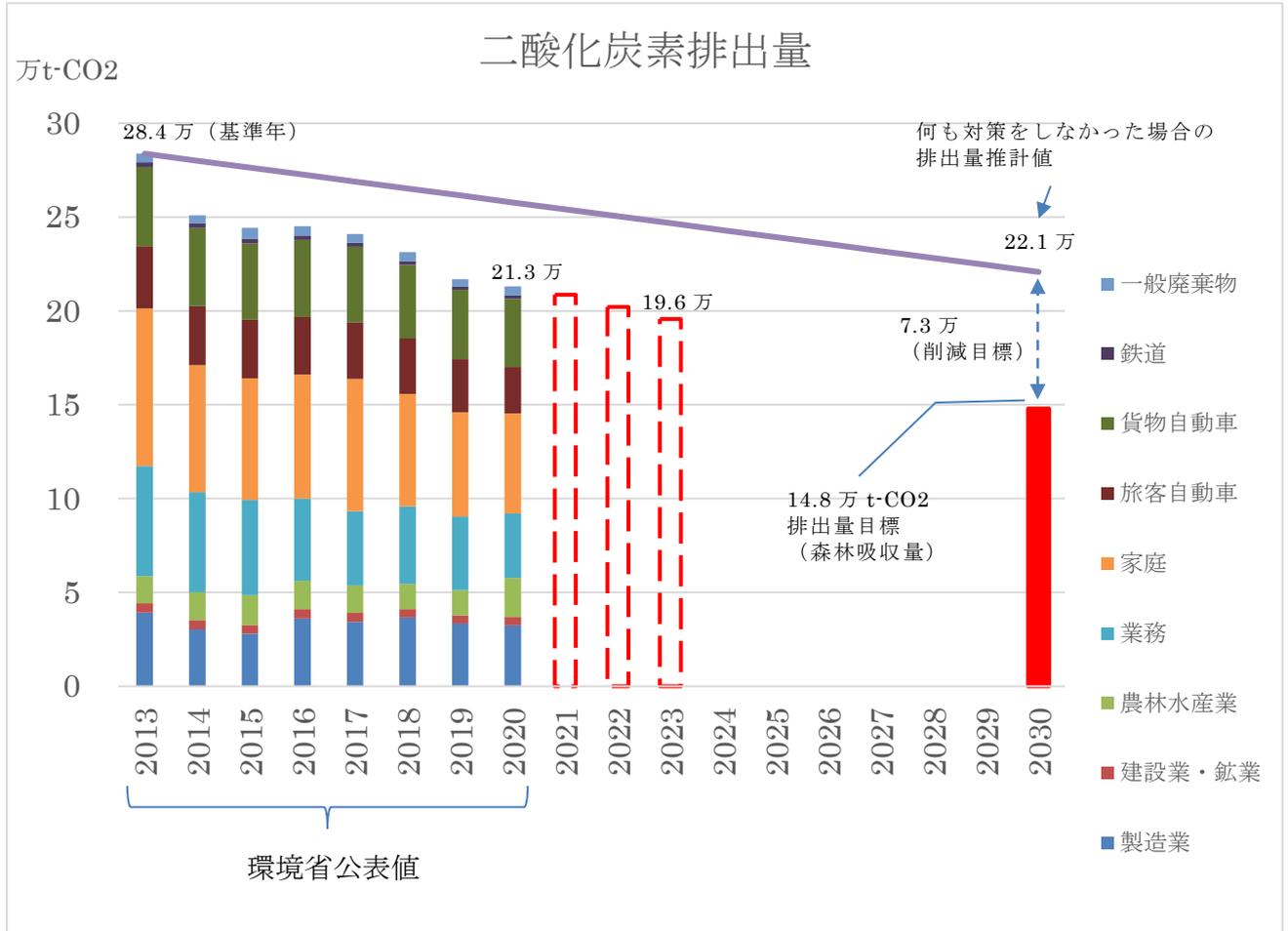


## 鹿角市地球温暖化対策実行計画の進捗について

### 1 二酸化炭素排出量の目標及び進捗状況

目標：2030年の二酸化炭素排出量 14.8万 t-CO<sub>2</sub>（必要削減量 7.3万 t-CO<sub>2</sub>）



2013 (基準年)	2020 (最新値)	2030 (目標)
28.4 万 t-CO <sub>2</sub>	21.3 万 t-CO <sub>2</sub>	14.8 万 t-CO <sub>2</sub>

## 2 令和5年度の取組状況

### 対策1 再エネ電気メニューへの切替

内容：かづのパワーが再エネ電源を確保しながら地域の再エネを供給し、電気由来のCO<sub>2</sub>を削減します。

削減目標：4.62万t-CO<sub>2</sub>、対策目標：市内電力需要の50%、約8,700万kWhの切替

削減推計値：0.528万t-CO<sub>2</sub>（約1,000万kWh）

#### <実施状況>

##### ①成長に見合った連携の実施

かづのパワーの地産電源の確保に連携して取り組み、令和5年度から大沼地熱発電所の一部電力の調達と需要家への供給を開始した。

##### ②再エネ電気利用の推進

令和6年3月1日時点で公共施設57箇所、民間施設6箇所に契約を拡大。令和5年度の売電量は10GWh（1,000万kWh）程度の見込み。

##### ③地域向け電源の導入促進（再エネ推進交付金事業）

地域脱炭素移行・再エネ推進事業（重点対策加速化事業）を活用し、かづのパワーへ供給する「地域向け電源について、市の遊休地で太陽光発電を実施する事業者を公募した（2件採択）。

### 対策2 自家消費型再エネ電源の導入

内容：自家消費型の太陽光、木質バイオマスコジェネを導入し、電気由来のCO<sub>2</sub>を削減します。

削減目標：0.63万t-CO<sub>2</sub>、対象目標：太陽光10,000kW、木質バイオマス320kW

削減推計値：0.002万t-CO<sub>2</sub>、太陽光47.7kW

#### <実施状況>

##### ①公共施設への再エネ設備の導入

市内公共施設52箇所について、環境省の計画づくり事業補助金を活用し、太陽光発電設備の導入可能性調査を実施した（第2回協議会報告）。

## ②再エネ設備の導入支援（再エネ推進交付金事業）

個人・企業の自家消費型太陽光・蓄電池の導入に係る初期費用について補助を実施した（個人：交付決定6件、47.7kW 企業：0件）。



## 対策3 EVへの切替

内容：EVに必要なインフラを整えることで、EVへの切り替えを進め、動力由来のCO2を削減します。

削減目標：1.19万t-CO2、対策目標：市内車両の20%、旅客3,700台、貨物1,300台

削減推計値：4月に令和5年度EV販売台数を調査予定

### ＜実施状況＞

#### ①コムスを活用したEV体験会・展示会の開催

一人乗りの電気自動車コムスを活用し、7月23日（日）にコムス試乗会及び市内ディーラーによる電気自動車等の展示会をあんたらあにて開催。41人が試乗し、電気自動車購入の可能性調査と機運醸成を図った。

#### ②コムス貸出実証

コムス2台を企業や団体に広く貸し出し、モニター調査を行い、EV転換への関心と理解を深めるための制度を創設。

※貸出開始が11月からとなり実績なし。

#### ③アンケート調査の実施

EV推進の参考とするため市民、事業者、販売店を対象にアンケートを実施。

アンケート結果については、令和6年度策定予定のEVマスタープランの参考とする。

○実施期間 令和5年12月27日～令和6年2月9日

(アンケート結果概要)

項目	数値	参考
市内で販売されたEV数	130台	市内車両販売業者による回答。R5.3時点の車両数は25,204台(国交省)
EVを所有していると回答した市民割合	3.9% (11世帯/285世帯)	調査数700、回答数285 回答率40.7%
事業所のEV所有割合	0.9% (12台/1272台)	調査数300、回答数169 回答率56.3%

EVを購入してよかったこと：電気代(ガソリン代)、維持費が安い

EVを購入しない理由：金額が高い、航続距離(バッテリー)に不安がある、

EVの必要性をそもそも感じない、冬・寒さに対して不安、  
業務にあう車両がない

#### ④EVセミナーの開催

EVの導入について普及啓発をするためEVセミナーを開催し、講演及びパネルディスカッションを実施した。

	内容	講師等	日時・場所	参加者数
前半	講演 「100年に一度のパラダイムシフト!!GXとEVXによる持続可能な地域づくりに関して」	(講師) 株式会社JTBコミュニケーションデザイン 黒岩 隆之 氏	2月22日(木) 18:00~19:45 コモッセ研修室	11人
後半	パネルディスカッション 「どうしたらEVの導入が進むか」	(パネリスト) 黒岩 隆之 氏 (株)柳澤鉄工所 柳澤康隆 氏 (株)日産自動車鹿角店長 亀田憲人 氏 EVユーザー(市民) 1名		

## 対策4 省エネ設備への更新

内容：省エネ機器への更新を進め、電気・熱由来のCO<sub>2</sub>を削減します。

削減目標：0.2万t-CO<sub>2</sub>、対策目標：市内電力需要の2%、約370万kWh/年

削減推計値：0.0105万t-CO<sub>2</sub>

### <実施状況>

#### ①省エネ診断の推進

花輪小学校、まちなかオフィス、交流プラザ（MIT PLAZA）の省エネ診断を実施した。

#### ②省エネ設備への更新

##### ・省エネ設備等更新支援

光熱費の削減や温室効果ガスの排出量削減を図るため、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し「鹿角市省エネ設備等更新支援補助金」による支援を、令和4年度に引き続き実施した。

令和6年2月末時点で28件の申請があり、総事業費約4,355万円、補助交付決定額2,006万円、CO<sub>2</sub>削減量は年間0.0105万トンであった。

（令和6年2月末申請状況）

件数	CO <sub>2</sub> 削減量 (t-CO <sub>2</sub> )	総事業費 (円)	交付決定額 (円)
28	105	43,546,996	20,060,000

更新機器	件数	平均エネルギー削減量	平均CO <sub>2</sub> 削減量 (t-CO <sub>2</sub> )	平均総事業費 (円)
空調	14	電気 5,731 kWh LPガス 205 m <sup>3</sup> 灯油 1.8 kL	3.6	1,111,143
照明	6	10,716kWh	5.7	2,441,317
冷蔵庫、冷凍庫	5	4,215 m <sup>3</sup>	2.2	1,320,000
その他（変圧器等）	3	6,233kWh	3.3	2,247,700
総計	28	電気 6,648 kWh LPガス 205 m <sup>3</sup> 灯油 1.8 kL	3.8	1,555,250

・ 公共施設の LED 化

十和田市民センター：LED 化実施設計及び設置工事

交流センター：LED 化実施設計及び設置工事

花輪さくら保育園：実施設計（来年度工事予定）

## 対策 5 建物の熱対策

内容：断熱改修や ZEH、薪ストーブ、木質バイオマス熱利用機器の導入を進め、電気・熱由来の CO2 を削減します。

削減目標：0.66 万 t-CO2、対策目標：66 件/年の断熱改修、ZEH、薪ストーブ導入  
木質バイオマス熱利用 3 件

削減推計値：0.0031 万 t-CO2、断熱改修補助 23 件、薪ストーブ 4 件

### ＜実施状況＞

#### ①木質バイオマス熱利用の導入支援（再エネ推進交付金事業）

家庭向けの薪・ペレットストーブの初期費用に対し補助する制度を創設した。令和 6 年 2 月末現在で 4 件を交付決定。

#### ②住宅の断熱改修支援

耐震改修や住環境向上に対して補助をする「安全安心住まいづくり事業」について、「脱炭素促進事業」を補助対象に追加。23 件の断熱改修工事を支援した。

## 対策6 適切な森林管理

内容：森林経営管理計画を進め、間伐や伐採・再造林など適切な森林管理を継続し、森林吸収量を維持します。

削減目標：吸収量 14.8 万 t-CO<sub>2</sub> を維持

対策目標：森林経営管理計画のカバー率 100%

削減推計値：統計値未公表（近年の森林蓄材量から計算される推定吸収量は 16.5 万 t-CO<sub>2</sub>）

### ＜実施状況＞

#### ①森林経営管理推進事業

管理計画に基づく森林管理業務（間伐 254ha）を委託により実施した。

#### ②再造林の推進

再造林等について補助を実施し、2 件（43.03ha）を交付決定。

#### ③間伐の推進

搬出間伐に必要な路網整備に対して補助制度を設けている（今年度実績なし）。

#### ④林業人材の育成

林業大学生への家賃補助、新規就業雇用事業への補助制度を実施。新規就業雇用事業については 11 人分を補助決定。

## 対策7 その他脱炭素行動の促進

内容：節電、クールビズ、節水、公共交通の利用、ごみの削減、低炭素商品の選択など、CO2削減行動に努めます。

削減目標：なし、対策目標なし。

### ＜実施状況＞

#### ①普及啓発講座の開催及び普及啓発パンフレットの作成

脱炭素に関する理解を深めるためカーボンニュートラル普及啓発市民講座の開催及び普及啓発パンフレットの作成を株式会社 Give First へ委託（コンペにより選定）。

	内容	講師	日時場所	参加者数
第1回	「鹿角の皆さんと考える地球温暖化と未来について」  「サステナビリティ（持続可能性）の見える化とは」	(株)国立リベラルアーツ 代表取締役 三輪純平氏  サステナブル・ラボ(株) CFO 貴志優紀氏	8月26日（土） 10:30～12:00 鹿角市交流センター	13人
第2回	再エネと地域共生の先進事例 「姫神ウインドパーク」の視察	コスモエコパワー(株) 事業開発部副部長 長澤 列士氏 事業開発部統括グループ 森田洋行氏 盛岡事務所長 中野 剛氏	10月19日（木） 10:00～17:00 姫神ウインドパーク	10人
第3回	「自然環境と共生から地域創生へ」 「街づくりにおける環境・サステナビリティの観点について」 「環境と創生の両立において地域コミュニティの果たす役割」	環境省東北地方環境事務所地域脱炭素創生室 嶋田章氏  三菱地所 xTECH 運営部ユニットリーダー 堺美夫氏  (株)国立リベラルアーツ 代表取締役 三輪純平氏	10月20日（金） 13:00～15:00 文化の杜交流館コモッセ	17人
第4回	「ネイチャーポジティブ経済の時代へ」  「カーボンニュートラルと生物多様性の共存」	MS&AD インシュアランスグループ ホールディングス TNFD 専任 SVP/ MS&AD インターリスク総研フェロー 原口 真氏  (株)国立リベラルアーツ 代表取締役 三輪純平氏	12月22日（金） 10:00～11:30 鹿角市交流センター	14人

#### ②「CO2 排出量の見える化」の推進

脱炭素行動に取り組む事業者の申請を受け、市が公表する「脱炭素行動事業者認定制度」を創設し、2月末で11社を認定した。

### ③エネルギー新産業育成プロジェクト（再エネ水素の利活用）

本市の豊富な再生可能エネルギーを活用して水素を製造し、化石燃料の代替や電力の貯蔵などに利活用するため実現可能な方法の調査を実施。

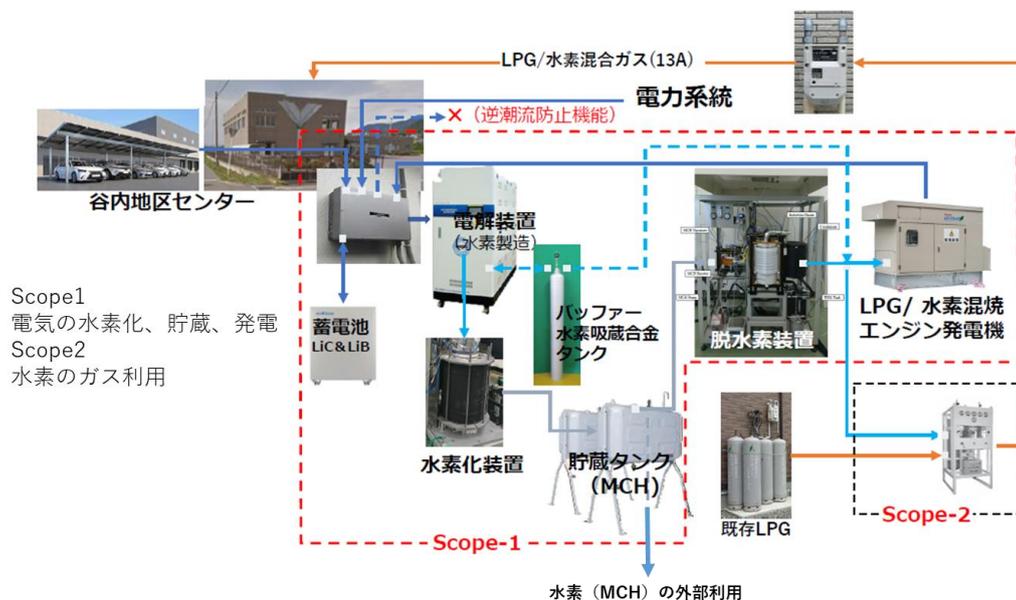
事業費が高額で十分な補助金が見込めず、費用対効果が低いと判断し、実施設計については延期することとした。

#### 【事業の概要】

谷内地区市民センターに自家消費型太陽光発電設備（導入可能性調査を実施中）を設置し、その余剰電力で水素を製造、貯蔵する。

太陽光が発電しない夜間等に水素から発電した電気で施設内電力を賄う。

水素をMCHで貯蔵し、輸送して他の場所で熱・電気・動力として活用する。



## 令和5年度取組によるCO2削減量見込み

令和5年度取組によるCO2排出量の見込みは0.5436万t-CO2。削減目標7.3万t-CO2の約7.4%。

項目	実施状況
対策1 再エネ電気メニューへの切替	0.528万t-CO2
対策2 自家消費型再エネ電源の導入	0.002万t-CO2
対策3 EVへの切替	4月にR5年度EV販売台数を市内自動車販売店に調査予定
対策4 省エネ設備への更新	0.0105万t-CO2
対策5 建物の熱対策	0.0031万t-CO2
対策6 適切な森林管理	近年の材積量から推定すると16.5万t-CO2
対策7 その他脱炭素行動の促進	数値目標なし
<b>令和5年度推計CO2削減量</b>	<b>0.5436万t-CO2 (進捗率 7.4%)</b>